

【YASU海援隊発足と活動について】

Aさん： YASU海援隊の生れたきっかけは、平成17年に奈良県の進学塾の塾長から、この広い太平洋と革新的な歴史を持つ土佐で子どもたちを学ばせたいという話があったことからだと聞いています。

最初は夜須と本山、この2泊3日のコースで始めました。子どもたちは、夜須のほうに昼に入り、即シーカヤックをし、それから後には貝磨きや漁協でのシイラ漁の話の聞きました。夕食は漁協女性部がもてなしました。次の日は地曳網をし、昼食を食べて本山に送る。ちょっと短いコースでした。次の年も大体同じようなかたちで進みました。その頃から、県の地域支援員の方と旧夜須町の企画課の方から、ベースが大体できてきたので、行政主導ではなくて自力で企画・立案をしてやってみてはどうかとっていただいたので、会を重ねて自分たちでスケジュールを組んだりするようになり、だんだん海援隊の姿が見えてきました。

それで、塾のほうにお願いをして、本山との2泊3日ではなく、香南市単独で2泊3日をやりたいという希望を出したところ、OKをいただけたので、スケジュール等を頑張って作りました。

その流れで、YASU海援隊として、平成21年4月に設立総会をして、発足させました。

今年の塾の体験メニューをお示ししますと、1日目は去年までは龍河洞に行っていましたが、今年は野市動物公園へ行きました。

全国的にも珍しい、双子のチンパンジーとその母親のお話と園内見学というのを、今年新たに塾のコースに組み入れるようになりました。

その後、ヤ・シィパークで歓迎会を行いまして、竹とんぼ作りを行いました。この竹とんぼを作ってくださった方は競技会で日本一をとった方で、飛ばすと30mぐらい上のにぼって、子どもたちが本当に喜んでいました。

夕食は、もてなし隊の協力を得まして、シイラのフライを入れたカレーライスとメロンを出して大変好評でした。

2日目がシーカヤックです。天気も良くて、大手の浜まで行って、シュノーケルもして帰ってきました。昼食は今日皆さんに食べていただきました「カッティーロール」で、これも大変人気で、特に男の子はおかわりを随分していたみたいです。スイカもおいしいのがありまして、いっぱい食べておりました。

それから漁協のほうに行きまして、漁船のクルージングと長太郎貝磨きを班に分けてやりました。漁船のクルージングは3年ぐらい前から始めまして、大変好評です。漁師の方に漁の仕方とか話していただいています。

夕食は、漁協の女性部の方が作ってくれたシイラのお刺身、それと磨いた長太郎貝をボイルしたり、シイラのジャンジャン焼きなどを出していただき、特に刺身はもうすごい人気でした。

それから、芸西の天文館のほうへ行きまして、天体観測を行いました。

3日目朝食後、赤岡それから野市のほうへ行くので、地元の方とはここでお別れ会をしました。

Bさん：　そして、(赤岡で)本山のほうのグループと合流しまして、約80名ぐらいで地曳網をやったんですが、この日はアジが取れまして、それをさばいて、昼食にしました。

絵金蔵では、まち歩きということで、何気ない場所なんですけど、赤岡のまちを歩いてもらい、4ヶ所ほどチェックポイントがあり、そこは必ず通ってもらう約束で、子どもたちに2人1組とか3人1組になって歩いていってもらいました。ちょっと暑い中だったけど、なかなかこれも楽しんでもらうことができました。

Aさん：　大体海のメニューが主体になっていますが、夜須町の奥に国光という所があって炭焼き体験ができる所もありますので、これからもどんどん新しいメニューを探して、いいものがあれば取り組んでいって充実したものにしていきたいと思います。